別記様式第６号別紙１

地域医療介護総合確保基金事業費補助金所要額精算書

補助事業者名

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区　　分 | 総事業費  (A) | 寄付金その  他の収入額  (B) | 差 引 額  (A)-(B)  (C) | 対象経費の  支 出 額  (D) | 補助基準額  (E) | 選 定 額  (F) | 補助率  (G) | 年度内  進捗率  (H) | 県 補 助  所 要 額  (I) | 県 補 助  交付決定額  (J) | 県 補 助  選定額  (K) | 県 補 助  受入済額  (L) | 差引  補助金所要額  （K）－（L）  (M) |
|  | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | ％ | ％ | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 |

（注） 「区分」欄には、交付の対象となる事業の名称を記載する。

【勤務医の労働時間短縮に向けた体制整備事業“以外”の記載要領】

１　(E)「補助基準額」は、別表１の「２　基準額」欄の記載に基づく額を記載すること。

　　　 ２　(F)「選定額」欄は、(C)、(D)、(E)を比較し、最も少ない額を記載すること。

　　　 ３　(H) 年度内進捗率は、施設整備が複数年度にわたる場合、当該年度分の進捗率を記載すること。

　　　 ４　(I)「県補助所要額」欄は、(F)×(G)×(H)により算出された額に1,000円未満の端数が生じた場合には、これを切り捨てるものとする。

　　　 ５　(K)「県補助選定額」欄は、(I)、(J)を比較し、少ない方の額を記載すること。

　　　 ６　(L)「県補助受入済額」欄は、概算払により県から受入済みの補助額を記載すること。

【勤務医の労働時間短縮に向けた体制整備事業の記載要領】

１ （E)「補助基準額」は、事業Ⅰ・Ⅱは最大使用病床数に133,000円を乗じて得た額を記載し、事業Ⅲは派遣月数増分に1,250,000円を乗じて得た額を記載すること。

２　(F)「選定額」は、(C)、(D)を比較して少ない方の額に(G)の補助率を乗じて得た額を記載すること。

３ （I)「県補助所要額」は、（E)、(F)を比較して少ない方の額を記載すること。ただし、1,000円未満の端数が生じた場合は、これを切り捨てるものとする。

４　(K)「県補助選定額」欄は、(I)、(J)を比較し、少ない方の額を記載すること。

５　(L)「県補助受入済額」欄は、概算払により県から受入済みの補助額を記載すること。

６　別紙所要額精算明細書を添付すること。